

《分科会1》 高齢社会における都市のレジリエンス

■ 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 秋山 弘子 氏



イリノイ大学でPh.D (心理学) 取得、米国の国立老化研究機構 (National Institute on Aging) フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会科学系研究科教授 (社会心理学)、日本学術会議副会長などを経て、現在、東京大学高齢社会総合研究機構特任教授。専門=ジェロントロジー (老年学)。高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を20年にわたる全国高齢者調査で追跡研究。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりにも取り組む。超高齢社会におけるよりよい生のあり方を追求。

■ ヤマト運輸株式会社 岩手主管支店 営業企画課長 松本 まゆみ 氏



岩手県盛岡市出身、在任。都内大学で彫塑・陶芸を学び就職後、離婚を機に盛岡に戻り2児の子育てをしながら、フリーラスタレーターとなる。98年からヤマト運輸でパートのドライバーとして勤務。07年正社員となり翌年、盛岡駅前センター長に。10年6月から現職。

■ ボローニャ市 環境課長 ジョバンニ・フィン 氏



工学博士 (土地利用・建築工学) ボローニャ大学教授 (インテグラルデザイン)。国立都市計画研究所の国家環境グループのコーディネーターを務める。ボローニャ市職員として、主に環境と土地計画の分野に従事。2006年より、ボローニャ市の環境品質部門のコーディネーターを行っており、市の複数の計画策定を担当している。それらのうち、2007年に承認されたエネルギープログラムはイタリア環境省より持続可能なエネルギーのナショナルアワードを受賞、2012年に採択されたSEAPプログラムは国家のA+ Com賞を受賞。EU 気候変動適応を進める市長誓約「Mayors Adapt!」への調印にも尽力、ボローニャ市はイタリアで初の調印都市となった。

■ ULI アーバンレジリエンス ディレクター ブレンデン・マックエニーニ 氏



コミュニティに対して、気候変動に対するリスクへの備え方や災害からの復興に関して、経営資源、ベストプラクティス、専門的な助言などのプログラムを提供している。ULIに所属する以前には、サンタモニカ市のグリーンビルディングプログラムの顧問を務め、緑の建築基準、インセンティブ制度、および教育プログラムを開発した。また、ロサンゼルスで米国グリーンビルディング評議会の理事会の議長も務めた。エル大学環境工学学位取得、エル大学森林環境研究課で産業環境管理の修士号を取得。グリーンビルディングと持続可能性の分野におけるコンサルティングと公共政策に関し、10年以上の経験を有している。

《分科会2》 コミュニティのあり方とレジリエンスの向上

■ ULIジャパン エグゼクティブディレクター J・マイケル・オーエン 氏



1968年、日本生まれ。ハワイ大学で修士号取得。1995年に翻訳・執筆・企画を専門とするトランスパシフィックエンタープライズを設立、代表取締役就任。英語と優れた日本語能力、国内外の企業との豊富なビジネス経験を生かし、企業・団体・官公庁の国際コミュニケーションサポートを行う。2004年からは都市開発で世界最大のNPOのアーバンランド機構 (ULI) の事務局長に就任、日本における日本と外国の不動産開発および投資関連の企業のネットワークづくりにつとめる。また、J-REIT分野に精通するだけでなく、多分野の企業におけるコミュニケーションサービスやPR戦略の立案・支援を担当。また、政府内閣官房の環境未来都市推進委員会において推進委員として、長年の会社経営や培った見識を活かし発展的な議論を行っている。

■ 富山市長 森 雅志 氏



1952年8月13日生まれ
富山中野高校・中央大学法学部卒
1977年 11月司法書士・行政書士事務所を開設
1995年 4月富山県議会議員に初当選
1999年 4月富山県議会議員に再選
2002年 1月旧富山市長初当選 (2005年3月31日まで)
2005年 4月富山市長に初当選
2009年 4月富山市長に再選
2013年 4月富山市長に再選

■ コペンハーゲン市 環境部長 リック・レオナルドソン 氏



同部門は2025年までにコペンハーゲン市を世界初のカーボンニュートラル都市にするアジェンダの作成や雨水管理など、コペンハーゲン市の気候変動に関する全ての取組みを担当している。レオナルドソン氏1997年よりコペンハーゲン市の業務に従事しており、都市開発全般に関する社会問題、環境問題等について幅広い経験を有している。コペンハーゲン市の気候変動適応計画の作成に、最も初期の段階から参加し、気候変動がこれまでの都市にどのような影響を与えるかということ考慮した気候変動適応計画に取組んできた。その取組みが国際的に評価され、2013年にインテックスデザイン賞を受賞した。都市の排水管理計画を担当し、1990年代初頭より雨水管理と水質の改善についても意欲的に取組んできた。

■ C.W.ニコル アファンの森財団 理事長 C.W.ニコル 氏



1940年イギリス南ウエールズ生まれ。カナダ水産調査局北極生物研究所の技官・環境局の環境問題緊急対策官やエチオピアのシミエン山岳国立公園の公園長など世界各地で環境保護活動を行い、1980年から長年在住。1984年から荒れ果てた里山を購入し「アファンの森」と名づけ、森の再生活動を始める。1995年日本国籍を取得。2005年英国エリザベス女王陛下より名誉大英勲章を賜る。2011年「アファンの森」が日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登録。2014年エチオピア・シミエン山岳国立公園(世界自然遺産)親善大使に任命。

総括

■ 国立環境研究所 社会環境システム研究センター センター長 藤田 壮 氏



博士 (工学) 1983年東京大学都市工学科卒業、ペンシルバニア大学院都市計画修士、東京大学博士 (工学)。大学卒業後、大成建設での都市地域開発計画業務などを経て、1994年より大阪大学助手、助教授。東洋大学工学部教授、国立環境研究所室長を経て現職。専門は環境システム学、都市環境計画、環境技術評価、エコタウン、都市産業共生システム。

■ 国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員 藤野 純一 氏



工学博士 (電気工学) 1972年5月23日生まれ
1995年 3月東京大学工学部電気工学科 卒業
2000年 3月東京大学大学院工学系研究科 博士課程 (電気工学) 修了
2000年 4月 (独) 国立環境研究所 地球環境研究グループ研究員
2001年 4月 (独) 国立環境研究所社会環境システム研究領域研究員
2003年 4月国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 助教授 (兼任)
2004年 4月東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 非常勤講師 (兼任)
2006年 4月 (独) 国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員 2011年 4月～現職



4th International Forum on the "FutureCity" Initiative

第4回「環境未来都市」構想推進 国際フォーラム

【開催趣旨】

環境、高齢化等の課題に取り組む持続可能な都市モデルの実現と普及展開を図る

「環境未来都市」構想を推進するため、

第4回「環境未来都市」構想推進国際フォーラムを開催いたします。

本フォーラムでは、「レジリエンス向上と環境未来都市」をテーマに先進事例を共有し、

国際的ネットワークの深化に向けて議論を深めます。

今回は、東日本大震災に際し、従来の地域コミュニティの力を活かし

雇用にも配慮した迅速ながれき処理を行い、

着実に「環境未来都市」構想の実現に取り組んでいる「東松島市」にて開催いたします。

【会場】 東松島市コミュニティセンター

宮城県東松島市矢本大溜1-1 TEL:0225-82-6969

【日時】 2014年12月6日(土) 10:00~16:00 (受付開始 9時30分)

参加費無料 定員300名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)



主催：内閣官房・内閣府・「環境未来都市」構想推進協議会

【お問い合わせ】 「環境未来都市」構想推進国際フォーラム事務局 内閣官房地域活性化統合事務局
【TEL】 03-5510-2175 【FAX】 03-3591-8801 【E-mail】 g.futurecity@cas.go.jp

第4回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム スケジュール

※講演者や講演時間など、プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

10:00~10:30

主催者・来賓 挨拶

《主催者挨拶》
《来賓挨拶》

- 駐日デンマーク大使 **A.カーステン・ダムスゴー** 氏
- ロラン市長 **ホルガ・スコー・ラスムセン** 氏

10:30~11:00

《基調講演》レジリエンス向上と環境未来都市

- 内閣総理大臣補佐官 **和泉 洋人** 氏

11:00~12:30

《全体セッション》レジリエンス向上と環境未来都市

【コーディネーター】

- 建築環境・省エネルギー機構 理事長 **村上 周三** 氏

【パネリスト】

- 東松島市長 **阿部 秀保** 氏
- バンダ・アチェ市長 **イリザ・サーアデュティン・ジャマル** 氏
- ULIアーバンレジリエンス ディレクター **ブレンデン マックエニーニ** 氏

12:30~13:40

昼食・休憩

13:40~15:10

分科会

《分科会1》高齢社会における都市のレジリエンス

【コーディネーター】

- 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 **秋山 弘子** 氏

【パネリスト】

- ヤマト運輸株式会社 岩手主管支店 営業企画課長 **松本 まゆみ** 氏
- ポローニヤ市 環境課長 **ジョバンニ・フィン** 氏
- ULIアーバンレジリエンス ディレクター **ブレンデン マックエニーニ** 氏

《分科会2》コミュニティのあり方とレジリエンスの向上

【コーディネーター】

- ULIジャパン エグゼクティブディレクター **J・マイケル・オーエン** 氏

【パネリスト】

- 富山市長 **森 雅志** 氏
- コペンハーゲン市 環境部長 **リッケ・レオナルドソン** 氏
- C.W.ニコル アファンの森財団 理事長 **C.W.ニコル** 氏

15:10~15:20

休憩

15:20~16:00

総括・全体総括

【総括】

- 国立環境研究所 社会環境システム研究センター センター長 **藤田 壮** 氏
- 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授 **秋山 弘子** 氏
- ULIジャパン エグゼクティブディレクター **J・マイケル・オーエン** 氏

【全体総括】

- 建築環境・省エネルギー機構 理事長 **村上 周三** 氏

《来賓挨拶》

■ 駐日デンマーク大使 **A.カーステン・ダムスゴー** 氏



1981年デンマーク外務省入省。1999-2003年外交安全保障政策部長。1996-1999年ブラッセルNATO及びWEUデンマーク代表部副常駐代表。1992-1996年デンマーク外務省ヨーロッパ担当官。1986-1990年フランスデンマーク大使館一等書記官。2008年デンマーク外務省政務局長。2003年より2008年まではイスラエルデンマーク大使として駐在。2009年デンマーク外務大臣の特別代表としてアフガニスタン及びパキスタンに駐在。2010年4月より2011年8月までアフガニスタン大使として任期をつとめる。2011年9月1日在日本デンマーク大使に任命される。

■ ロラン市長 **ホルガ・スコー・ラスムセン** 氏



1965年生まれ。デンマークの小学校教師の教職課程を修了後、子供と青少年のための民間機関や公的機関でコンサルタントやマネージャーを20年以上務める。2005年から政治活動を開始し、マリボ市議会およびその後のロラン市議会で社会民主党の代表を務める。2007年1月1日に7市町村の合併によりロラン市が成立、2014年1月1日より現職。

《基調講演》レジリエンス向上と環境未来都市

■ 内閣総理大臣補佐官 **和泉 洋人** 氏



1953年5月18日 神奈川県横浜市生まれ
学歴 1976年 3月東京大学工学部都市工学科卒
2001年 4月工学博士取得(東京大学)
職歴
1976年 4月建設省入省
1983年 4月~87年3月高崎市役所へ出向(都市計画部長)
1998年 7月建設省住宅局住宅生産課長
2001年 1月国土交通省住宅局住宅総合整備課長
2002年 7月内閣官房都市再生本部事務局長
2004年 7月国土交通省大臣官房審議官(住宅局担当)
2007年 7月国土交通省住宅局長
2009年 7月内閣官房地域活性化統合事務局局長
2012年 9月国家公務員退官

2012年 10月内閣官房参与(国家戦略担当)
2013年 1月内閣総理大臣補佐官(国土強靱化及び復興等の社会資本整備並びに地域活性化担当)(第二次安倍内閣)
2013年 2月~内閣総理大臣補佐官(国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地域活性化並びに健康・医療に関する成長戦略担当)(第二次安倍内閣)
2014年 9月~内閣総理大臣補佐官(国土強靱化及び復興等の社会資本整備、地方創生並びに健康・医療に関する成長戦略担当)(第二次安倍改造内閣)(現在)
2001年 4月~慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科非常勤講師、特別研究教授、特別招聘教授を経て、先端研究センター特任教授(現在)
2006年 12月~政策研究大学院大学客員教授(現在)
2013年 4月~東京大学教授(現在) 著書「容積率緩和型都市計画論」、「サステイナブル建築と政策デザイン(共著)」、「CASBEE入門(共著)」、「実例に学ぶCASBEE(共著)」、「サステイナブル生命建築(共著)」

《全体セッション》レジリエンス向上と環境未来都市

■ 建築環境・省エネルギー機構 理事長 **村上 周三** 氏



工学博士 東京大学名誉教授。デンマーク工科大学客員教授、慶應義塾大学理工学部教授、(独)建築研究所理事長を歴任し、現職。日本建築学会会長、建築・住宅国際機構会長、環境モデル都市・低炭素づくり分科会座長などを歴任。研究分野は、建築・都市環境工学、サステナブル建築等。2001年にASHRAE Fellow Award、2002年にSCANVAC the John Rydberg Gold Medal、2014年に日本建築学会大賞を受賞。

■ 東松島市長 **阿部 秀保** 氏



1955年4月26日 東松島市に生まれ
中央大学法学部卒業
座右の銘:努力、初心忘るべからず
市政に対する抱負:市民が安心・安全に暮らせるまちづくり
安定した市政運営(分かりやすく納得でき、信頼される市政)
主な経歴
1987年 8月矢本町議会議員(5期)
1999年 8月矢本町議会議員(2期)
1999年 8月全国市議会議長会基地協議会副会長
2005年 4月東松島市長(1期目)
2009年 4月東松島市長(2期目)
2012年 6月全国市長会評議員
2013年 4月東松島市長(3期目)

■ ULI アーバンレジリエンス ディレクター **ブレンデン・マックエニーニ** 氏



コミュニティに対して、気候変動に対するリスクへの備え方や災害からの復興に関して、経営資源、ベストプラクティス、専門的な助言などのプログラムを提供している。ULIに所属する以前には、サンタモニカ市のグリーンビルディングプログラムの顧問を務め、緑の建築基準、インセンティブ制度、および教育プログラムを開発した。また、ロサンゼルスで米国グリーンビルディング評議会の理事会の議長も務めた。エル大学環境工学学位取得、エル大学森林環境研究課で産業環境管理の修士号を取得。グリーンビルディングと持続可能性の分野におけるコンサルティングと公共政策に関し、10年以上の経験を持っている。

■ バンダ・アチェ市長 **イリザ・サーアデュティン・ジャマル** 氏



2004年に起きたスマトラ沖地震と津波の災害からの復興に尽力、バンダ・アチェ市の防災計画を策定した。2004年から2006年までバンダ・アチェ市議院長官、バンダ・アチェ市議員を歴任。2014年7月より現職。2007年1月Waspada 賞受賞
2008年3月GTZ Gender賞受賞 2010年10月Tata Nugraha賞受賞 2011年9月WTP Tahun 2010賞受賞 2011年10月Innovative Government 賞受賞 2011年12月ITC Pura賞受賞

会場案内

1F 多目的ホール

- 来賓挨拶 ● 基調講演
- 全体セッション ● 分科会1

2F 会議室

- 分科会2

